

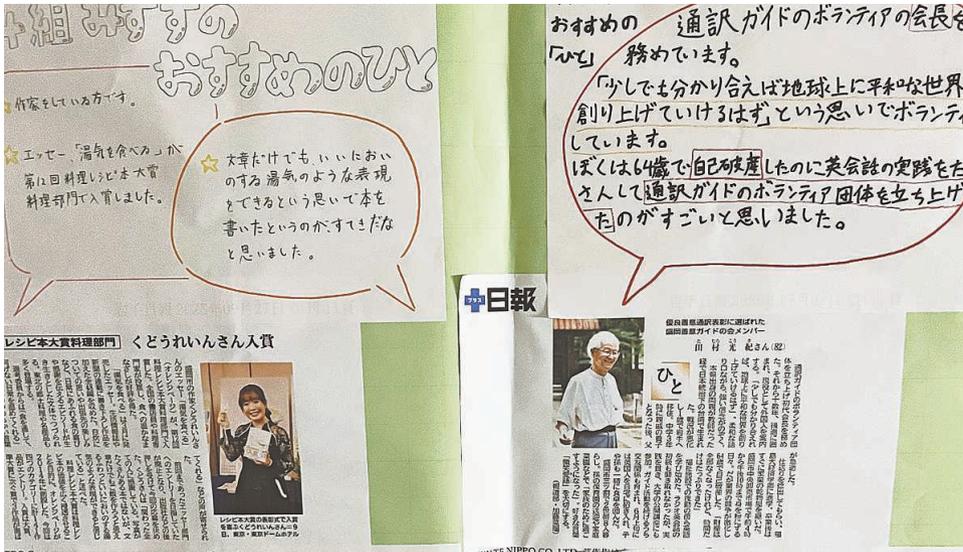
「ひと」に学ぶ生き方 盛岡・緑が丘小児童が取材

盛岡市の緑が丘小（小沢則幸校長、児童595人）の6年生109人はプラス日報で調べた記事を基に、働く意義や自

分の生き方を考えるキャリア学習を行った。地域で活躍する人物を紹介する「ひと」欄に登場した4人を同校に招



「ひと」欄に載った講師を招いた授業で、真剣にメモを取る児童



昨秋からの学びの成果として、緑が丘小の廊下に掲示した「ひと」欄の紹介コーナー

き、児童自身が「取材」。卒業の節目に、自分の将来や社会との関わり方について考えを深めた。

総合的な学習の時間の一環で取り組んだ。児童は昨年10月ごろから週1回「ひと」欄を読んで興味を持った記事

を要約し、自分の考えをまとめる活動を重ねてきた。記事を読むうちに「直接話を聞いてみたい」という声上がり、2月上旬、ゲストティーチャーとして学校に招いた。

訪れたのは、盛岡市で児童向けに無料音楽教室を開いている男性、看護師を経て雫石町にリサイクルショップと喫茶店を開いた女性ら4人。



講師を務めた雫石町にリサイクルショップと喫茶店を開いた館柳恵美子さん。仕事のやりがいなどを児童に語った

子どもたちは、仕事のやりがいなどを質問し、話に耳を傾けた。「お客さんに喜んでもらえる、うれしい」「さまざまな経験をすることが、将来の仕事に役立つ」「自分を大切に」。講師の言葉を熱心にメモし、社会との関わり方や生き方について視野を広げた。

聞いた内容はプレゼンテーションソフトでまとめ、2月中旬の授業参観で発表した。一連の学習を振り返り、佐々木志織さんは「講師の方の話を聞いて、エネルギーをもらった。挫折しても、前向きにいろんなことに挑戦する姿を学んだ」とうなずいた。

大日向千尋教諭(36)は「『ひと』のコーナーは子どもにとって難しすぎず、興味を持ちながら短い時間で読むことができる。今回学んださまざまな人の生き方や考え方を、これからの人生に生かしてほしい」と、子どもたちの将来に思いをはせた。

